

入院診療計画書(食道癌手術を受ける患者様へ)

ID番号 @PATIENTID

氏名 @PATIENTNAME 様

@PATIENTWARD

病棟

@PATIENTROOM 号室

病名 (他に考える病名)

症状

担当医師 @USERNAME

担当看護師

担当薬剤師

@SYSDATE

月日	入院日 (/)	術前日 (/)	手術日 (/)	術翌日	術後2日~6日目	術後7~14日目	術後14日~20日目	退院日 (/)
経過	入院や手術に関して不安があれば、遠慮なく相談してください	検査データを確認しながら、手術へむけて準備を行います。	()時に手術室へ移動します	ICUから一般病棟へ移ります				退院
目標	手術への準備ができています。安心して手術に臨むことができます。		手術入室までの流れ □麻酔科医師指示の内服薬があれば、服用して下さい □排便がなければ、浣腸をします □前あきの下着、病院のパンツに着替えて下さい □弾性ストッキングをはいて下さい。(弾性ストッキングは看護師が用意します) □化粧やマニキュアを落として下さい □義歯・眼鏡・時計・ヘアピン・指輪などを外して下さい □髪の長い方は、ゴムで2つに結んで下さい □点滴をして手術室へ向かいます	痛みが強いときや、呼吸が苦しいときは、スタッフに知らせるようにしましょう	少しずつ、行動範囲を広げましょう ※リハビリの欄をご覧ください	経腸栄養の注ぎ足し、内服薬の注入ができるようにしましょう	ほとんどの日常生活が自立できる	外来受診について定期受診は必ず行なうようにしましょう。
検査	手術に必要な検査をします	□腹部に毛の処理 □おへその掃除 □入浴 □採血 □12時 下剤を服用 □医師が肩に名前を記入 □準備物品の確認 □21時 下剤の服用 ※水分は手術日の朝まで摂取可能です。	痛いときは我慢せずに教えてください	必要に応じて 採血・レントゲン写真		術後1週間目以降に、食道透視の検査があります	この検査で、食事が開始できるか確認します	
処置	基本的に処置はありません 	ご不安なときは、ポータブルトイレを用意します	点滴 心電図モニター 薬素吸入 胃の管 尿管 ※術中に、「腸ろう」という管が 腹部に入ります	痛み止めの管が抜けます 一痛いときは、他のお薬を使用しますので遠慮無く相談して下さい 酸素吸入は、マスクが外れ鼻からの吸入に変わります。 痰をやわらかくする吸入を行います 心電図モニターが終了します	創い入っているドレーンが抜けます 経腸栄養の注ぎ足し、内服薬の注入方法に関しては、パンフレットをご覧ください		以下の症状があるときは、受診日以外でも来院してください。 ・腹痛がひどい時 ・便やおならがなく、お腹の張りが続いている時 ・嘔吐が続き、吐き気がひどい時 ・黒い便が出た時 ・高熱が出たり微熱が何日も続く時 わからない点、不安な点がありましたら、医師や看護師にご相談ください。	
注射	基本的に注射はありません	不安 安心						
内服	飲んでいるお薬は、全て看護師にお知らせ下さい。	普段飲んでいる薬は、術前日もいつもどおり飲んで下さい。中止薬があれば、説明します。						□次回受診まで、必要な分のお薬が処方されます
食事	入院日の食事に制限はありません。 食事にアレルギーなどがあれば相談してください。(希望により、食事変更ができます)例)ご飯・お粥・牛乳・ヨーグルト		術後許可が出るまで、飲んだり食べたりできません			医師の許可があれば、水を飲むことができます 食事が開始される場合は、パンフレットに沿って説明を行います		職場復帰や旅行などは、医師に相談して下さい。
清潔行動	活動、入浴に制限はありません			シャワー許可が出るまで、清潔に関するお手伝いをします	食えることが出来ない期間が長くなります。口の中を清潔に保てるように、毎日うがいや歯磨きを行います。		入浴のときは... 熱いお湯は体の疲労を伴います。長湯にならないようにしましょう。	
リハビリ	スーパール呼吸訓練を行います 自宅での運動量に比較し、入院すると筋力が低下します。できるだけ体を動かすことをおすすめします。		麻酔から覚めたら深呼吸をしましょう 血栓予防に足の底背屈運動を行って下さい。 つま先を頭の方へ向ける つま先を伸ばす	術翌日 できれば足を垂らして座ってみましょう 日中はできるだけ起きていきましょう	術後2~3日目 立ちましょ 足ぶみましょ 術後4日目~ どんどん歩きましょう 毎日歩きましょう			
説明	病棟での日常生活をご案内します。手術の予定を説明します。	麻酔科医師の問診があります。手術室とICU看護師の説明があります。	ご家族の方へ病棟のあるロビーでお待ち下さい。離れる場合は、待機場所をお知らせ下さい。	点滴や尿管、ドレーンが絡まる場合がありますので、座るときや立ちあがる時は看護師を呼んで下さい。	初めて歩行する時は、看護師が付き添います。術後早期に歩き始めた方が、回復も早くなります。		□栄養指導を行います	□次回予約票を渡します □リストバンドを外します

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

上記内容について説明を受け同意いたしました

署名:

続柄:

特別な栄養管理の必要性

有 ・ 無